

牛久阿見 IC 周辺開発を完結

～誰もが幸せに暮らせるまちづくり～

全世代利用の温水プール



◆プロフィール◆

千葉 繁 (ちば・しげる) 1963年(昭和38年)2月1日生まれ
の63歳。明治大学大学院修了。趣味は写真で、特に人物撮影を
得意とする。職員の結婚式で写真撮影を担当することもあると
か。座右の銘は「初心忘るべからず」。

入札制度は時代に応じて変
化していく必要があると考
えているが、その中でも「透
明性」と「公平性」が最も重
要だと考えている。不調案件
への対策については、担当課
でさらなる研究を重ねてい
く。

■ごみ処理施設の広域化

龍ヶ崎市、牛久市、稲敷
市、利根町、河内町、美浦
村、阿見町の7市町村で、将
来的には新たなごみ処理施設
を運営していくことになる。
場所はまだ決まっていない
が、新しい施設が完成するの
は2037年の見込み。7市
町村が一体となるので、これ
を機にごみの資源化、減量化
を徹底的に進めていき、全国
から注目されるようなごみの
資源化・減量化をやってい
たいと考えている。

■インフラ整備の推進

道路網の整備は町の発展に
は欠かせない。都
市計画道路(寺子・飯倉線)は2
025年に開通した。今後本
郷・中根線の整備が進んでい
く。

■建設業へのメッセージ

災害時の対応や地域の安全
確保にご尽力いただいでい
る地元建設業者の皆さまに
は、心から感謝している。阿
見町建設業組合の皆さまま
には降雪や豪雨などの自然災
害が発生した際にいち早く駆
けつけ、昼夜を問わず対応し
てくださっている。郷土愛が
強く、真面目に仕事に取り組
んでくださる方がとても多
く、ありがたく思っている。
町としても、町内業者を育
成していきたいという強い思
いがある。町が発注する工事
については可能な限り町内業
者が受注できるような環境を
整えたい。町内の大規模な開
発事業においても、地元の方
が技術を磨き、参画でき
るようなマッチングの仕組み
を整えていく。

担い手不足解消には建設業
の魅力向上が不可欠だ。リク
ルト面での支援に加え、現
場環境の改善についてもハッ
クアップを検討したい。

「住民の小さな声を拾う」という現場主義が私の政治信条だ。これまで多くの住民の皆さまと対話を重ねる中で課題を具現化し、公約として掲げた事業を着実に完結してきた。1期目は24の公約を3年半で100%完結し、2期目は60の公約を掲げ、3月末で99.2%を実現した。

■3期目就任の抱負

3期目においても、継続事業を含め55の政策公約を掲げている。このうち牛久阿見IC周辺開発の完結や温水プールの整備、小中学校体育館へのエアコン整備などの8項目を重点政策に位置づけている。各担当課で目標を設定し、4年間で確実に事業を達成させていく。また、町は24年に「SDGs未来都市」に選定されたことを受け、17のゴールに公約を振り分け、持続可能な町づくりをさらに推進していく。

■重点政策の心と魂であった

重点政策の心と魂であった

者の方々の合意形成に全力を注ぐ。大規模な企業誘致を実現することで、新たな財源確保、雇用の創出、そして人口流入を加速させる。町の将来にとって重要な事業として完結させたい。

■小中学校体育館へのエアコン整備

小中学校体育館へのエアコン設置は8年前の就任時から構想していたが、多額の予算を要するため断念していた。国の補助金が新設されたので、全校での整備が着実に進んでいる。

■温水プール・複合施設の建設

老朽化した学校プールの更新には莫大な費用がかかるため、全世代が利用できる温水プールシステム、温浴施設を併設した複合施設を建設する。場所は役場や学校が集まる中央地区(阿見中学校の敷地)とし、災害時には防災拠点としても機能させる計画だ。26年度は実施設計を取りまとめる。27年度からの着工、29年3月の完成を目指し

町も県と一体となり、地権



▲阿見実穀地区では県施行による工業団地整備が計画されている

社会資本整備を通して地域の発展に尽力致します

阿見町建設業組合 葵会

会長 松浦 一久

- | | | | | |
|----------|-----------|---------|---------|-----------|
| 松浦建設(株) | (株)我見工業 | 中村興業(有) | (有)丸隆建設 | (株)白田設計 |
| (株)杉原建設 | (株)大山電機工業 | (株)マキナ | (有)久保組 | 松尾建設(株) |
| (有)三生工業 | (株)関東住総 | (株)美都住建 | (株)一心 | 五島産業(株) |
| (有)ノグチ工業 | サトウ工業(株) | (有)ミーサン | 大鵬電設(株) | ジョイテック(株) |